

2014年度 事業報告書

一般社団法人 CSV開発機構

2014年4月1日～2015年3月31日



CONTENTS

設立の趣旨と目的／役員一覧	01
会員一覧／事業内容	02
年間活動計画	03
年間活動スケジュール	04
1年間の活動記録	
[1] 全体セッション	05
[2] グローバルセッション	09
[3] CSV大学 in 弘前	10
[4] 各種連携等	12
[5] ビジネス・プロジェクト等	13

■ 一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していこうというCSVを事業化することを目的とし、その普及と推進に資するものです。

■ 役員（2015年3月31日現在）

理事長	赤池 学	
副理事長	水上 武彦	
専務理事	小寺 徹	
理事	太田 健	（キリン株式会社）
	大和田 整	（株式会社乃村工藝社）
	反町 雅史	（大和リース株式会社）
	長谷部 直人	（東京書籍株式会社）
	八田 泰秀	（日本ユニシス株式会社）
	平川 健司	（株式会社電通）
	細井 幸治	（ヤマハ発動機株式会社）
	綿石 隆人	（株式会社JTBコーポレートセールス）
事務局長	永山 均	（株式会社a2media）
監事	岡田 芳明	（三菱地所株式会社）
顧問	渋澤 寿一	

■ 会員（2015年3月31日現在）

（一般会員）

株式会社a2media	片倉 武郎	川崎重工業株式会社
キリン株式会社	KDDI株式会社	J&J事業創造株式会社
住友林業株式会社	大和リース株式会社	株式会社JTBCコーポレートセールス
株式会社電通	東京書籍株式会社	株式会社富山
日本ユニシス株式会社	株式会社乃村工藝社	三菱地所株式会社
ヤマハ発動機株式会社	株式会社LIXIL	株式会社エクスチェンジ
富国生命保険相互会社	大日本印刷株式会社	コドモエナジー株式会社

（準会員）

小松精錬株式会社

（特別会員）

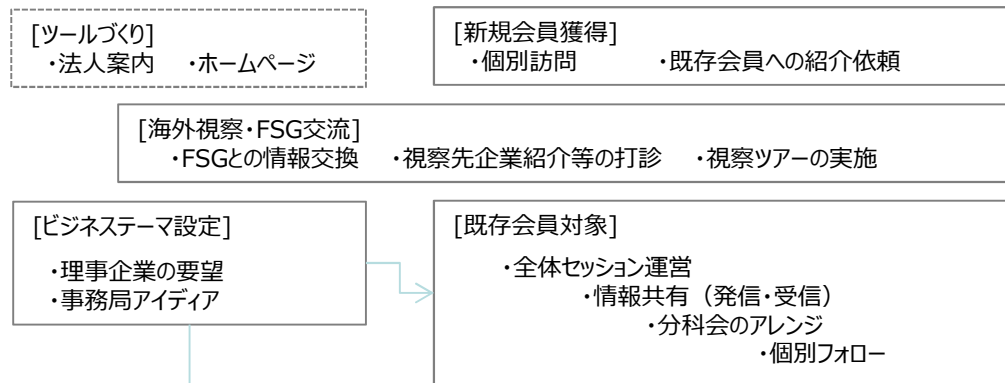
千葉商科大学	青森県	弘前市
名古屋市（東京事務所）	公益財団法人科学技術広報財団	
特定非営利活動法人キッズデザイン協議会	特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会	

■ 事業内容（2015年3月31日現在）

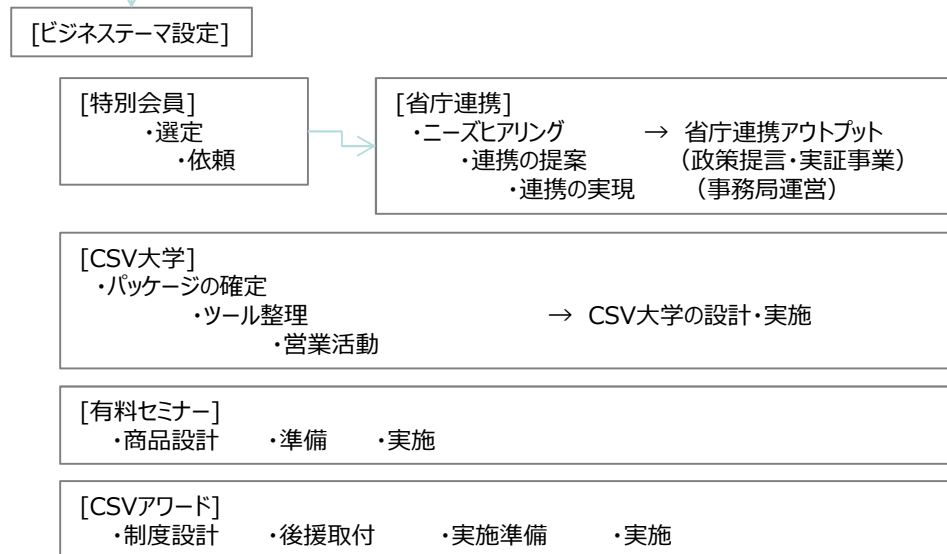
- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

年間活動計画

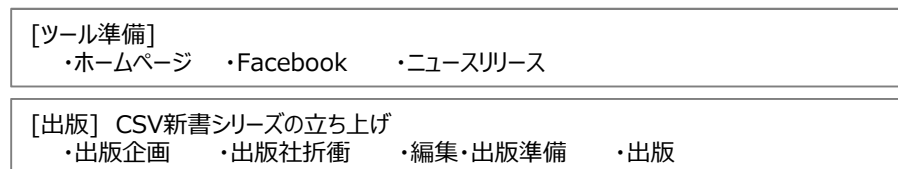
1. 会員事業



2. 収益事業



3. 広報事業



年間活動スケジュール

2014年

04月	[機構運営]	一般社団法人CSV開発機構 法人登記申請（設立）
05月	[機構運営]	理事会メンバーミーティング
	[機構運営]	設立社員総会及び理事会
06月	[セッション]	第1回 2020年に向けたアジェンダセッティング（電通平川氏）
07月	[機構運営]	定例理事会
08月	[CSV大学]	弘前 千葉商科大学生によるフィールドインターンシップ
09月	[セッション]	第2回 オリピック・パラリンピックとCSV（オリパラ室長平田氏）
	[セッション]	FSC チャド氏来日記念セッション
	[講演]	大阪商工会議所（小寺専務理事）
10月	[シンポジウム]	国土強靱化シンポジウム2014（後援）
	[機構運営]	定例理事会
11月	[取材対応]	販促会議（理事長インタビュー）
	[シンポジウム]	公開シンポジウム（青森県弘前市）
	[CSV大学]	CSV ワークショップ（弘前市地元若手経営者）
	[協定締結]	弘前市・CSV・千葉商科大学 三者包括連携協定締結
12月	[機構運営]	会員企業個別ヒアリング
	[セッション]	年末全体ミーティング

2015年

01月	[省庁連携]	中小企業庁ヒアリング（ふるさと創生施策関連）
	[機構運営]	定例理事会
	[セッション]	第3回 公開空地・リパブリックとCSV（涌井氏／牧村氏）
	[CSV大学]	弘前 CSVビジネス創造ワークキャンプ
02月	[シンポジウム]	日本ジビエサミット（鳥取）（後援・プレゼンテーション）
	[シンポジウム]	北九州東田GV街づくりシンポジウム（シーズプレゼンテーション）
	[省庁連携]	東京都海の森倶楽部 入会
	[CSV大学]	弘前 報告書提出・モデル事業推進提案
03月	[セッション]	第4回 女性の社会参画とCSV（華房氏／園田氏）
	[省庁連携]	東京都海の森倶楽部 植樹イベント参加

1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第1回 「2020年に向けたCSVビジネスのアジェンダセット」

2014年6月23日 / 14:30-17:30 / 3 × 3 Labo (丸の内富士ビル3F)

講演1

「2020年に向けたCSVビジネスのアジェンダセット」

平川 健司 (株式会社電通 プラットフォームビジネス局 局次長)

- オリンピックを契機に、日本の成長戦略を描く
- グローバル成長アジェンダとしての「スマートシティ」
- ローカル成長アジェンダとしての「スマートコミュニティ」



講演2

「Shared Value Leaders Summit 2014 参加報告」

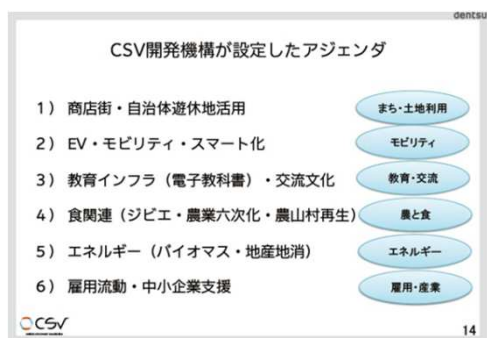
水上 武彦 (一般社団法人CSV開発機構 副理事長
株式会社クレアン CSVコンサルタント)

- CSVはコンセプトから具体化のステージへ。
- 会社全体、経営の大きなスタンスとしてCSVを推進する動きが加速
- 投資家も注目している「Shared Value Investing」という動き



「テーマ別ディスカッション」

キーノートで触れられた6つのアジェンダに基づき、グループディスカッションを行い、それぞれの立場で何ができるかをディスカッションし、CSVビジネスの糸口を探った。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第2回「2020年東京オリンピック・パラリンピックとCSV」

2014年9月8日 / 15:00-18:00 / 商工会館 (千代田区霞が関)

キーノートスピーチ

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組の現状について」

平田 竹男 (内閣官房参与 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長)

- 開催期間 2020年7月24日 (金) ~8月9日 (日)
- 省庁横断で様々な準備が同時並行で進められており、民間との協業もこれから徐々に具体化。
- 2020年以降に何を残したいかを考え、それを残すためにオールジャパンで取り組むことが重要。



プロジェクト報告

■ Edutown について

東京書籍ICT事業本部 事業開発部 部長 長谷部 直人

総合学習支援サイトとして20万人の先生、60万人の子供たちの会員登録。プラットフォームとして、会員企業を巻き込んだ教科横断型の教育プログラムを開発。



■ コンテナとガーデンで生み出す都市再生と交流ステージの創造

綿半ホールディングス 綿半総合研究所 矢野 TEA / 中山 美樹

コンテナの機動性・環境優位性・グローバルスタンダード性を活かし、様々な交流空間づくりを通じて経済・文化の発展に貢献していきたい。



■ キリンの取り組みについて

キリン CSV推進部 企画担当 主幹 太田 健

「氷結和梨」や「復興応援 キリン絆プロジェクト」など、様々なCSVを展開してきている。今後も人や社会のつながり、健康の増進の2つを主なフィールド推進していく。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第3回 「CSVによる公共空間のリデザイン」

2015年1月28日 / 15:00-18:00 / 日本財団会議室 (港区赤坂)

講演1

「社会的共有価値を表現し、新たなライフスタイル創造に寄与する公共を考える」

涌井 史郎 (東京都市大学 環境情報学部教授 岐阜県立アカデミー学長)

- 地球環境の変化と人類の危機。環境革命が起ころうとしている。
- トrend発想からバックキャスト発想に変わらなくてはならない。
- 新しい公共を生み出す「公園再開発」の必要性が高まっている。
- 新たな時代に対応した都市マネジメントと都市公園づくり
- 社会資本と自然資本と経済活動のバランスの中で発想することの重要性。



講演2

「リ・パブリック・イニシアティブ 設立趣旨と活動概要」

牧村 真史 (リ・パブリック・イニシアティブ 事務局長)

- 公共空間の使い方を視点を変えて再考する。
- 様々な方面への提言をし、様々なプレイヤーとの連携によって新しい公共空間のデザインを具体化していく。



1年間の活動記録

〔1〕全体セッション

第4回 「女性の社会進出とCSV」

2015年3月21日 / 15:00-18:00 / 乃村工藝社 ノムラスタジオ (港区台場2丁目)

講演1

「女性が輝く社会の実現に向けて」

華房 実保 (内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室次長)

- 女性が働くことに関しての日本の実情は、まだまだ厳しい。
- 出産・子育てと女性の就業の関係 – 大きなハードル
- 少子高齢化社会での女性が働くことの意味
- 女性に優しい社会をつくること：仕事と生活の調和を実現すること
- すべての女性が輝く政策パッケージ・暮らしの質向上プロジェクト



講演2

「CSVコンセプトで考える女性が輝く社会創りビジネスアイデア」

園田 綾子 (株式会社クレアン 代表取締役社長)

- 女性の感性を活かした製品サービスのCSV
- 女性の活躍支援につながるCSV
- 女性の自立支援につながるビジネス環境のCSV



講演3

「子どもと過ごす空間を快適に チームMの活動紹介」

渡辺 恭子 (株式会社乃村工藝社 人財開発部 チーフ)

- 母親の気づきを空間づくりに活かす
- 母親のニーズは市場のニーズ
- 社会課題に応えるプロの仕事



1年間の活動記録

〔2〕 グローバルセッション

「2015年 CSVの最新動向」

2014年9月18日 / 15:00-17:00 / 日本橋ビジョンセンター（中央区日本橋）

イントロダクション

「CSVの最新動向」

水上 武彦（クリーン CSVコンサルタント / CSV開発機構 副理事長）

- 経営レベルで捉えられ始めたCSV
- CSVコンセプトで自社のビジネスを再定義
- イノベーション手法の変化とCSV
- オープンイノベーションとリバースイノベーション
- 日本のCSVビジネスの現状
- ニーズベース・シーズベースで考えるCSVポテンシャル



プレゼンテーション

「Creating Shared Value Presentation」

Chad Bolick (FSG Shared Value Initiative Director of Partnerships)

- ビジネスのインパクトが社会のインパクトにつながる
- 共有できる価値を生み出す（Creating Shared Value）のであって、出来上がった価値を分け合う（Sharing Created Value）のではない。
- CSVの効果測定は今後の課題
- 世界中の様々な課題、地域特性に合わせた解決策の提示がカギ



1年間の活動記録

〔3〕 CSV大学 in 弘前

Program 1 千葉商科大学学生によるフィールドインターンシップ

2014年8月26日 – 28日 / 弘前市内各所

- 千葉商科大学人間社会学部で展開されている「地域プロデューサー養成プロジェクト」の一環として学部生が民泊・農業体験・フィールドワークを実施。
- 「外国人目線」「学生目線」「定住者目線」「商業・産業目線」のグループに分かれて弘前市内を観察、気づきを弘前市の方々にプレゼンテーション。



Program 2 公開シンポジウム

2014年11月25日 / 弘前文化センター

- タイトル : CSV大学 in 弘前 公開シンポジウム
「人づくりから考える地方創生」
- プログラム : 葛西市長挨拶
基調講演 「ひとづくりから考える地方創生」
島田晴雄・千葉商科大学学長

パネルディスカッション
「地方資源を生かしたひとづくり・ことづくり」
葛西 憲之 弘前市長 島田 晴雄 千葉商科大学学長
森 樹男 弘前大学教授 榎引 利貞 カネショウ株式会社代表取締役社長
長谷部 直人 東京書籍株式会社ICT事業本部事業開発部長
赤池 学 理事長 (モデレーター)
- 来場者数 : 180名
- マスコミ : 2社



1年間の活動記録

(3) CSV大学 in 弘前

Program 3 CSVワークショップ

2014年11月25日／弘前文化センター

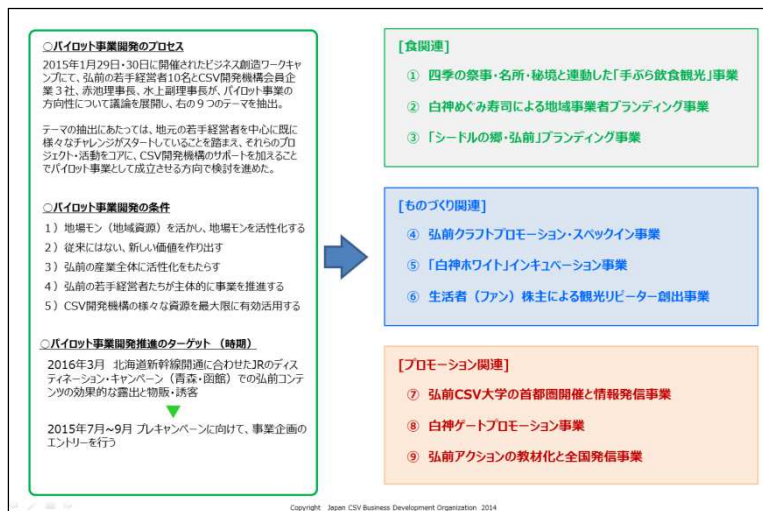
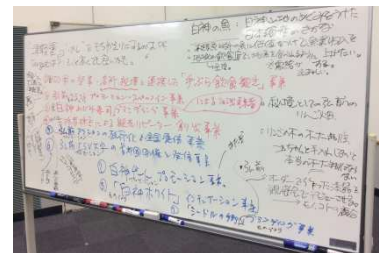
- 弘前市の若手経営者10名の参加のもとに弘前市の課題、問題意識を共有し、地域資源を活かした新しいビジネス、新しいまちおこしの在り方についてディスカッションを展開。
- 専門領域を超えた連携によるビジネスアイデアを出し合い、連携することでのCSVビジネス創造へのキックオフとなる。



Program 4 CSVワークキャンプ

2015年1月29日 – 30日／弘前文化センター

- 弘前市の若手経営者8名の参加のもと、地域資源を活かした具体的なビジネスアイデアについてディスカッションを展開。
- 2日間の検討の結果として、9つのビジネスプランが集約された。これらのビジネスプランを精査し、次年度CSVモデル事業として具体化することとした。



1年間の活動記録

〔4〕 各種連携等

■ 弘前市・CSV開発機構・千葉商科大学 三者包括協定

2014年11月25日

弘前市の街づくりに関して、弘前市・CSV開発機構・千葉商科大学の三者間で包括協定を締結しました。



■ 国土強靱化シンポジウム2014 後援

2014年10月22日

レジリエンスジャパン推進協議会が主催する国土強靱化シンポジウム2014「国土強靱化による民間投資はどうあるべきか」を後援。赤池理事長がパネリストとして登壇しました。



■ 第1回日本ジビエサミット 後援

2015年2月5日-6日

日本ジビエ振興協議会主催で開催された第1回日本ジビエサミット(鳥取県)を後援しました。

■ 八幡東田グリーンビレッジ街づくりプレシンポジウム 登壇

2015年2月19日

NEXT東田グリーンビレッジ基本構想調査事業委員会主催で開催された「八幡東田グリーンビレッジ基本構想調査事業プレシンポジウムにおいて、当機構会員企業6社（LIXIL、東京書籍、JTBコーポレートセールス・日揮、住友林業、大和リース）が登壇しました。

1年間の活動記録

〔4〕 各種連携等

■ 東京都海の森倶楽部 入会

2015年2月

東京都が管理する海の森公園のCSVコンセプトでの運営を目指し、東京都海の森倶楽部に入会いたしました。

■ 海の森倶楽部 植樹イベント参加

2015年3月28日

会員企業である乃村工芸社に協力いただき、海の森公園での植樹イベントに参加いたしました。

■ 中小企業庁 地域創生施策関連ヒアリング

中小企業庁と地域創成施策の実施にあたってのヒアリングを実施しました。

〔5〕 ビジネス・プロジェクト等

■ Edutown を活用した教育・ICT

会員企業である東京書籍が展開する総合学習応援サイト「Edutown」をプラットフォームとして活用した会員企業による子ども育成支援事業が様々な進行しています。

- ▼ モノづくり世界一（モノづくり・技術）
- ▼ 聞き書き甲子園（農山村探訪）
- ▼ グローバルコミュニケーション
- ▼ あしたね（キャリア教育・職業調べ）



■ 海の森公園のCSVコンセプトでの運営

会員企業である乃村工芸社を中心に、東京湾に浮かぶ夢の島跡地・海の森公園をCSVコンセプトで運営するべく、プロジェクトを展開しています。

■ 福島県・川内村の復興支援

会員企業であるコードエナジー社が川内村に建設した「ルナウェア」の工場を拠点に、復興支援・地域活性化に向けたプロジェクトを展開しています。

